

(科目コード：1006420006AA)

【改訂】第9版(2016-03-22)

【科目】国語表現演習

【科目分類】一般科目 【選択・必修の別】選択 【学期・単位数】前期・1単位

【対象学科・専攻】生産システム,環境 1年

【担当教員】太田 たまき

【授業目標】

論理的な文章の代表的構成法を理解できる。
論理的な文章を読み、論旨を客観的に理解し、要約することができる。
自己の考えを論理的、客観的に文章で表現することができる。
情報を分析し、図表等を適切に活用・加工することができる。

【教育方針・授業概要】

本科目の総授業時間数は22.5時間である。
文章を「書く」日本語表現能力の向上を目指す。具体的には、正確な読解から文章の要約、意見文の記述をする。

【教科書・教材・参考書等】

教科書：大学生のための日本語表現トレーニング スキルアップ編：橋本修（他）：三省堂：9784385363257

【授業形式・視聴覚・機器等の活用】

演習形式で行う。講義後、実践問題を課課し、時間内に提出する。

【メッセージ】

授業前半の講義をもとに、授業後半では実践問題に挑戦し、時間内の提出を義務付けます。提出状況により単位取得が難しくなる場合がありますので気をつけてください。

【事前に行う準備学習】

教科書の該当箇所を読んでおいてください。

【成績評価方法】

[前期]授業内課題：100%

【達成目標】

	達成目標	割合	評価方法
1	自己の考えを論理的、客観的に文章で表現することができる。	50 %	授業内課題により評価する。
2	論理的な文章を読み、論旨を客観的に理解することができる。	50 %	授業内課題により評価する。

【本校の学習・教育目標】

(E-1) 自己の考えを論理的、客観的に口頭及び文章で表現できる

【JABEE評価】

(f) 日本語による論理的な記述力、口頭発表力、討議等のコミュニケーション能力および国際的に通用するコミュニケーション基礎能力

【授業計画】(国語表現演習)

回数	授業の主題	内容	レポート	宿題
第1回	ガイダンス	本授業の目標・方針を周知徹底するとともに、次回以降の授業概要を確認する。		次回講義の予習
第2回	客観的文章の在り方	作文・感想文とレポート・小論文の違いを確認する。	授業内でワークシートによる演習を行う。	次回講義の予習
第3回～4回	文章表現の基礎	テキストの基礎ドリルを使い、文章ルールや表現の基礎を学ぶ。	授業内でワークシートによる演習を行う。	次回講義の予習
第5回～第6回	文献の調べ方	インターネットや図書館の活用法を学ぶ。	授業内でワークシートによる演習を行う。	次回講義の予習
第7回～第8回	堅実なレポートの書き方1	レポートを書くための具体的な手法を学ぶ。	授業内でワークシートによる演習を行う。	次回講義の予習
第9回～第10回	堅実なレポートの書き方2	レポートにふさわしい体裁を身につける。	授業内でワークシートによる演習を行う。	次回講義の予習
第11回～第13回	小論文の書き方	自分なりの型を決めておくことの必要性を学ぶ。	授業内でワークシートによる演習を行う。	次回講義の予習
第14回～第15回	論文の書き方	執筆計画の立て方や図表の入れ方など、大きな論文を書く方法を学ぶ。	授業内でワークシートによる演習を行う。	次回講義の予習 とこれまでの総括